

2022年度事業計画

自 2022年4月1日
至 2023年3月31日

2022年度は、新型コロナウイルス感染の収束は未だ不透明で先が見通せない中でのスタートとなりますが、会員第一を念頭に、施設協会の基本的な役割である、①鉄道施設技術を「横」と「縦」に繋ぐこととともに、②公的な機関としての役割を果たしていくことを基本として、変化する状況を捉えて的確に対応していきます。

また、「新型コロナウイルス感染症は社会の変革を加速する」と言われているように、世の中は大きな変革を余儀なくされています。協会運営においてもこの機会をチャンスと捉えて、今後とも私たちの役割を果たすことができるように更に改善を進めていきます。

1. 鉄道施設技術を「横」と「縦」に繋ぐ取組み

- (1) 協会誌は、前年度に編集方針の抜本的見直しを実施しましたが、今年度はその定着に努めるとともに、会員のニーズの変化等を踏まえて、更に役に立つ会誌となるように取り組めます。鉄道開業150周年を振り返る特集等を実施するとともに、若手技術者への技術伝承を目的として連載を開始します。また、4月には創刊から50年分の協会誌電子版を目次等で検索ができるように改修し、これまで蓄積した情報の有効活用を進めます。
- (2) 協会誌の編集について、オンラインでの参加を有効活用して、これまで参画が少なかった遠隔地等からの委員を含む体制に見直し、より多様な意見を反映したものとしていきます。
- (3) 前年度全面的にリニューアルした協会HPについて、適切な維持管理、コンテンツの更なる充実や有効な情報のタイムリーな発信等に努めて、協会の窓口として更に有効な活用ができるようにします。
- (4) 鉄道施設技術発表会、用地・協議業務研究会および総合技術講演会は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて本来の対面での実施への移行を検討するとともに、この場合もこれまでのオンライン実施で培ったノウハウを活用して、全国の会員に向けた配信等を実施します。
- (5) 若手会員を対象として、2020年度から協会誌に掲載を開始した「新受験ゼミナール」をはじめとする資格取得支援を更に充実し、会員の資格取得や技術力向上のための取組みを支援していきます。
- (6) 会員、特に、若手会員向けの情報交換の場として各講演会開催や各支部活動の一層の充実を図っていきます。

2. 公的な機関としての取組み

- (1) 保安事業では、講習会実施において昨年同様、新型コロナウイルス感染症へ万全の体制で臨むとともに、工事従事資格の継続性を確保し円滑な工事実施に支障し

ないように、委託者及び受講会社等と連携して取組みを進めていきます。

- (2) 保安講習事業の基幹システムである「保安講習会管理システム」は、前年度までに概ね導入が完了したことを受けて、今年度は名古屋事務所のシステムの老朽取替に合わせて、更なる利用者の利便性の向上と協会の業務効率化等を進めます。
- (3) 民営鉄道会社の新たな資格講習会の受託に取り組むとともに、その拡大を有効に活かして鉄道事業者の安全と安定輸送に貢献していきます。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大を機に一部で開始したオンライン保安講習会等については、JR等との意見調整を踏まえて、更なる導入拡大及び機能充実を進めていきます。
- (5) 2020年度認可された軌道工事における外国人技能実習制度の試験実施機関として体制を構築してきました。前年度は新型コロナウイルス感染症拡大により実施できませんでした。今年度はJR西日本エリア等からの要請により試験実施が具体化して来たため、本格実施に向けてのマニュアル等整備に取り組めます。
- (6) 線路技術の公的な資格については、今年度も関係会員からの要請を受けて重要課題の一つとして取り組めます。工事従事者の資格については前年度整理した方向性の定着等をフォローします。また、鉄道事業者向けの公的資格への足掛かりとなる協会資格の技術検定については、更なる定着と拡大に努めます。
- (7) 叙勲について、特に民間企業からの選出については協会の重要な役割の一つとして取り組んでいますが、今後も鉄道施設の従事員のモチベーション向上のために、支部等との連携強化を一層進めて、より多くの推薦、確保を目指します。

以上のような会員にとって有効な取組みの充実により、会員の皆様からの支援の指標であるとともに協会の貴重な財務基盤である会員数について、普通会员については一万人超を目指します。

通常総会・委員会等の計画は、以下のとおりです。

1 通常総会・委員会等

- (1) 通常総会
- (2) 支部総会
- (3) 理事会
- (4) 相談役・顧問会
- (5) 委員長会
- (6) 企画委員会
- (7) 財務委員会
- (8) 保安事業委員会
- (9) 叙勲及び表彰選考委員会
- (10) 功績賞等選考委員会
- (11) 協会誌編集委員会
企画、用地・協議、線路、土木、鉄道工事と安全各分科会
- (12) 論文賞等選考委員会
- (13) 保安賞選考委員会
- (14) 支部長・幹事長会議
- (15) 支部事務局連絡会議

2 行 事

- (1) 総合技術講演会（保線、調査・計画、建造物検査、土木工事施工）
- (2) 鉄道施設技術発表会（保線、土木）
- (3) 用地・協議業務研究会
- (4) 鉄道施設関係者新年懇親会（2団体共催）
- (5) 講演会、見学会等

3 調査等受託

- (1) 鉄道技術検定業務
- (2) 鉄道土木構造物アセットマネジメント検討委員会
- (3) 鉄道の土木技術基準に関する調査
- (4) 鉄道防災検討会

4 保安関係講習会

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 工事管理者（在来線） | (7) 特殊運転者（新幹線MC） |
| (2) 工事管理者（新幹線） | (8) 特殊運転者（MTT） |
| (3) 軌道工事管理者（在来線） | (9) 軌道作業責任者（在来線） |
| (4) 軌道工事管理者（新幹線） | (10) 軌道作業責任者（新幹線） |
| (5) 重機械運転者 | (11) 省令10条教育等 |
| (6) 特殊運転者（MC） | (12) 列車見張員その他 |

5 刊 行

- (1) 日本鉄道施設協会誌